

【学校名】

佐伯市立八幡小学校

実態(課題)の把握

(1)体力調査結果等から

- ・学年間、男女間で差が見られ、男子の伸びに比べ女児が低い傾向にある。
- ・長座体前屈、ボール投げ、反復横跳びは全国・県平均を上回っており、握力や20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳びなどは下回っている。

(2)生活習慣調査等から

- ・社会体育に参加している子どもが少なくなり、体を動かす機会が減っている。
- ・高学年になると電子機器の活用に興味をもち、睡眠時間が少ない傾向が見られる。

(3)特徴的な様子から

- ・放課後や休日に体を動かしている子どもとそうでない子どもに二極化している。
- ・休み時間等の遊びがいつも同じ遊びで、固定化されている。
- ・統合によりバス通学となったこともあり、車での登下校が多くなっている。

①
重点
目標

○心身ともに健やかな体

②
達成
指標

- 体を動かすことが楽しい児童を110人以上にする
- 「早寝・早起き・朝ご飯」に気をつけている児童100%以上にする

③
重点的
取組

- チャレンジタイムに全校で取り組む。(一校一実践)
- 家庭と連携して、生活リズムの確立に取り組む。(9to7ルール)の周知徹底)

④
取組
指標

- めあてカード等を活用して、5分間(10:15~10:20)体力作りに取り組む。
- 体育専科教員やCOT活用等を年1回以上招聘をして、積極的に活用する。
- 縦割り班遊び(毎月1回)や学級遊びなどの外遊び、徒歩通学の奨励をする。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」の定着状況を毎月確認し、健康な体づくりをめざす。

プランの検証と改善(検証頻度と検証方法)

検証頻度・検証方法

- 毎学期末に児童・保護者・教員アンケートを実施し、運動に対する意識調査を行う。
- 自己目標を設定させ、運動終了後に自己評価をさせる。

改善

- 毎学期末に「体づくり部」が検証結果を分析し、改善した取り組み計画を立案し、次学期当初から取り組めるようにする。

【一校一実践タイトル名と取組内容の概要】

タイトル名

八幡っ子チャレンジタイム

- 中休み後の5分間(10時15分~10時20分)を活用して、学年毎にマラソン、固定施設や縄跳びなどを使ったサーキット運動に継続的に取り組む。
- カードなどを活用して、めあてに向かって、意欲的に取り組めるように工夫する。
- 運動会やマラソン大会、縄跳び大会などの体育的な行事と連動して、計画的に取り組む。

